ご意見と回答

提案・意見

住宅政策課について 2（回答：10月5日時点）

（2026年9月受付）

住宅政策課の職員に話の通じる人を配置をしなければ意味がないです。
名前は名札がなかったのでわかりませんが市営住宅に住もうとする人の気持ちを一切考えてない職員をなんとかしてください。
どのように職員を教育するのか知りたいです。

回答

このたびは、市営住宅に関する窓口対応により、不快な思いをさせてしまい、深くお詫びいたします。
日頃、職員には市民の皆様の立場に立ち、丁寧で分かりやすい対応を行うよう指導しておりますが、今回そのようなお気持ちを抱かせてしまいましたことを心苦しく受け止めております。
市営住宅への入居を希望される方には、制度の説明だけでなく、相手のお気持ちに配慮した対応を行い、市民の皆様に気持ちよく相談していただけるよう努めてまいります。
貴重なご意見ありがとうございました。

住宅政策課（2026年10月回答（10月3日～9日））
カテゴリ：その他＞その他

ご意見と回答

提案・意見

旧御薗町に津波避難タワーがないことについて（回答：10月9日時点）

（2026年10月受付）

旧伊勢市には津波避難タワーがたくさんあるのに同じように津波の想定があるのになぜ旧御薗町には津波避難タワーがないんですか？

津波避難タワー一つ作るのにいくらするんですか？

そんなに高くないのではないんですか？

回答

津波避難タワーは、伊勢市津波避難計画において、津波からの迅速な避難が困難な地域を抽出し、住民の安全を確保するための避難場所として計画的に整備されています。

御薗町におきましては、津波からの避難場所として、地域の小中学校や地区の公民館などの公共施設や民間のマンション等を指定緊急避難場所に指定することにより、避難場所を確保できていることから、津波避難タワーの建設は行っておりません。

また、津波避難タワーの建設にあたっては、想定される津波や地震に耐えることができる構造が求められるほか、その規模（収容人数）によっても建設費は大きく異なります。およそ 10 年前に津波避難タワーを建設した際の総事業費は、約 2 億円から 5.3 億円程度となります。

危機管理課（2026年10月回答（10月3日～9日））

カテゴリ：くらし・環境＞防災

ご意見と回答

提案・意見

市役所の駐輪場について（回答：10月9日時点）

（2026年9月受付）

自転車はエコなので市役所の正面げんかんに自転車置き場を変えて欲しい。
他の市の施設も自転車ゆう先にして下さい。

回答

このたびは、市役所庁舎における自転車置き場についてご意見をいただき、ありがとうございます。自転車は環境負荷の少ない移動手段であり、ご提案の趣旨は理解しております。

一方で、正面玄関付近に自転車置き場を設置した場合、自動車の通行動線と交錯し、接触事故等の危険が高まることが想定されます。

このため、現時点では自転車置き場の位置を見直す予定はございませんが、いただいたご意見は、市の施設管理の参考とさせていただきます。

資産経営課（2026年10月回答（10月3日～9日））

カテゴリ：その他＞その他

ご意見と回答

提案・意見

駐車場の入口の時計（回答：10月9日時点）

（2026年9月受付）

駐車場の入口の時計ですが、外宮向きの方が故障したままです。時々故障があるようで前を通るたびに目につくので気になります。維持管理か楽で経費も安くつくと思われるソーラーシステムの電波時計を付けてみてはいかがでしょうか。内宮向きは正常です。これはすでに電波時計ですか。

回答

当該の時計は、設置から長年経過しているため交換部品がなく、復旧する場合、取り換えが必要となります。しかしながら、取り換えには多額の費用が見込まれることから、撤去する予定としております。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

資産経営課（2026年10月回答（10月3日～9日））

カテゴリ：その他＞その他

ご意見と回答

提案・意見

伊勢市観光文化会館について（回答：10月9日時点）

（2026年9月受付）

明倫商店街の火事で外の壁がかなり焼けた跡がありますが、一般の人が使用しても大丈夫なのでしょうか。

安全性はどのように担保されているのでしょうか。

火事でダメージを受けると取壊しが大前提と以前に保険会社の人が言っていましたが本当なのでしょうか。

今の状態で避難所として機能するのでしょうか。

回答

明倫商店街で発生した建物火災により、シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（伊勢市観光文化会館）では、外壁、楽屋およびリハーサル室が被災しました。

外壁塗材に損傷が生じましたが、建物本体の安全確認や、また、舞台機構や照明などの設備についても点検を行い、安全性が確認できた範囲で、9 月 15 日（火）から通常利用を再開しています。

なお、火災で損傷した建物を継続して使用できるかどうかは、火災の程度や建物の状態に応じて個別に判断するため、火災で損傷した建物が必ず取り壊しになるわけではありません。

避難所としても、利用可能な大会議室や小会議室を中心に、これまでどおり使用します。

ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

文化政策課（2026年10月回答（10月3日～9日））

カテゴリ：その他＞その他

ご意見と回答

提案・意見

いせ市民活動センターの安全性について②（回答：10月7日時点）

（2026年9月受付）

何日か前にいせ市民活動活動センターの耐震性能は現行の耐震基準を満たすように設計・建築されていますと回答がありました。

昭和 59 年に建てられたものなのに本当に今現在の耐震基準を全て満たしているので間違いないのかお尋ねします。

この前に行ったときには1階からかなり音が漏れてましたが、音が漏れないようになぜ壁にしなかったのかお尋ねします。

そもそも運営する前にどの程度の音ならいけるのか基準を作成しているのかお尋ねします。

2階の博物館の雰囲気が台無しになってました。

回答

耐震基準につきましては、建築された昭和 59 年当時の基準が現在と同じであり、基準は満たしております。

伊勢市歴史博物館をご利用の際、音等で不快な思いをさせてしまい、申し訳ございません。

1 階ホールについては、多目的に使える施設とするため、新たに稼働式の仕切り壁を設置させていただきました。

1 階ホールの利用に関しては、2 階に歴史博物館があることから、利用申請の際に 2 階の利用に支障をきたすおそれのある音の出る催しについては、必要に応じて伊勢市歴史博物館と協議のうえ、利用の可否を判断しております。

市民交流課（2026年10月回答（10月3日～9日））

カテゴリ：その他＞その他